

平成 24 年度公益社団法人第 7 回理事会議事録

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 25 年 3 月 7 日 (木)  
午後 1 時 00 分から午後 5 時 45 分
2. 開始場所 東京大学理学部 1 号館 843 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 12 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 2 名  
オブザーバー 5 名

4. 議長 理事 津田 敏隆

5. 出席役員

理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人 (TV会議)  
理事 北 和之  
理事 古村 孝志  
理事 杉田 倫明 (TV会議)  
理事 瀧上 豊  
理事 田近 英一  
理事 畠山 正恒  
理事 浜野 洋三  
理事 渡邊誠一郎  
監事 鈴木 善和  
監事 松浦 充宏

6.出席オブザーバー

大気水圏科学セクションプレジデント 中島 映至  
宇宙惑星科学セクション幹事 小嶋 浩嗣

地球生命科学セクション幹事	高野 淑識
男女共同参画委員会委員長	小口 千明
大会運営委員会副委員長	岩上 直幹

午後 1 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

## 7. 審議事項

### 第 10 号議案 宇宙政策委員会に関する声明（中島大気水圏科学プレジデント）資料 P59-62

中島大気水圏科学プレジデントより日本地球惑星科学連合より「平成 25 年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針のフォローアップ（案）」に関し、再検討をお願いする意見書提出について説明があった。今後、連合として声明を出す場合の一般的なルールを作ることを検討していくこととし、今回は中島プレジデントが原案を作成された意見書を大気水圏科学セクションとして提出することが全会一致で認められた。

尚、報告事項、2.委員会報告の「大気水圏科学セクション サブセクション制導入について」昨年度の社員総会でサブセクション制の導入が提案されていたが、セクション名を変更したことにより、セクション名に関する不満が減った為、この提案を取り下げることとなり、本年度の社員総会で報告されることが確認された。本年度の社員総会は日本地球惑星科学連合 2013 年大会中の 5 月 22 日（木）の 19:00～20:00 に開催される予定である。

### 第 3 号議案 公益社団法人第 3 期（平成 25 年 4 月～26 年 3 月）事業計画書

（津田会長・古村理事） 別添資料 2

津田会長より平成 25 年度事業計画書が提示され、古村理事より内容説明があった。審議の結果、委員会の活動計画を詳しく表記することと微細な字句修正の上、全会一致で承認された。なお、本事業計画書は内閣府に提出し社員総会で報告される。

### 第 6 号議案 平成 25 年度役員候補者推薦委員会の設置について（古村理事）

（日程確認、選挙管理委員会・役員候補者推薦委員会選出）資料 P42-43

古村理事より役員候補者推薦委員会規則第 3 条に基づき、役員候補者推薦委員会を 7 月に立ち上げる予定であることが報告された。委員定員 9 名のうち、現会長を除く他の委員 8 名は、現副会長 2 名、次期選挙で選出されるセクションプレジデント 5 名、及び地球惑星総合より畠山理事の 8 名とすることを社員総会に諮ることが全会一致で認められた。

### 第 8 号議案 日本地球惑星科学連合調達実施規則（案）及び調達実施運用基準（案）

（古村理事）資料 P52-54

古村理事より調達実施規則と調達実施運用基準の制定について説明があり、審議の結果全会一致で承認された。なお、規則第8条に従い、契約書を省略することのできる事項について事務局で選定し、運用基準4項に記載するものとする。

#### 第1号議案 新連合ジャーナルの経過と今後の予定について（川幡理事）資料 P13-16

川幡理事より11月13日に「科学研究費補助金」の書類が提出されたことが報告された。出版社が決まり次第、運営委員会、編集委員会を開催する。49学会と協力し、Open Access E-journalの発行をめざす。科研費が通るかどうかは不明であるが、出版会社を入札で決定2013年5月に仮契約し、自己資金300万円で縮小した形でスタートすることが全会一致で認められた。要綱は理事会にメール審議をしてもらい、4月第1週までに作成し、4月から5月に入札を行うことになる。2013年6月にはselected paperの募集を開始する。その時点ではすでに科研費の有無がわかっているので、今後の方針が決定できる。

ジャーナル名はProgress of Earth and Planetary Science（但し類似の、Progress in Earth and Planetary Science, Progress in Earth and Planetary Sciencesなど英語については、nativeの意見も参考にするとし、出版社とも相談して正式に決定していくことが全会一致で認められた。

#### 第4号議案 公益社団法人第3期（平成25年4月—26年3月）予算書（北理事）

資料 別添資料2/P33

北理事より別添資料2 P12.13の正味財産増減計算書予算書について説明があった。事務局、正社員が1名増加、ジャーナル関係として臨時で職員を雇用する部分で予算が増額されている。マイナスになった部分は印刷、製本費。財務委員会の計画通り、8100万円の平成25年度予算が全会一致で了承された。今後、公益社団法人としての繰越金と余剰金のとらえ方の理念を整えていくことも確認された。

#### 第5号議案 平成25年度定期社員総会 開催日程・議題・事前送付書類確認

（谷上事務局長）資料 P34-41

谷上事務局長より社員総会が5月22日（木）19:00～20:00に開催される旨説明があった。定例の議題は資料にある通り、報告事項として24年度事業報告、2014年度の会場と日程の変更、それに伴う参加費の値上げ、承認事項として25年度の事業報告書、役員候補者推薦委員があげられることが確認された。

#### 第2号議案 2014年大会の会場、および2015年以降の会場および大会参加料、投稿料の値上げについて（浜野理事）資料 P17-32

投稿数は年々5%程度ずつ増加しており、近年は4000件程度である。この数を幕張メッセの18会場で行うのはかなり難しく、今年は1コマを7講演とし、一日の開催時間が長く

設定されている。投稿を増やす為には会場を増やすことが必須である。幕張で会場を増やそうとすると、1000万円程度、会場費が膨らむことになる。連合大会を一か所でやれるところはパシフィコ横浜しかない。メッセより広いが人気があるので通常連合大会を開催している日程では借りられないが、2014年は4月28日から5月2日までは空いている。

22会場5日間で2400万円程度で開催できる見込みである。2014年はAOGSが札幌で7月末から8月初旬に開催が決まっている為、少しでも会期を離す必要もある。2015年は連休以外はパシフィコ横浜は空いていないので、2014年はパシフィコ横浜で5日間、2015年は幕張メッセで例年通り6日間開催をして、それ以降についてはアンケートをとって開催場所を決定することが全会一致で承認された。

次に津田会長より会費の値上げについて説明があった。会費は値上げしないで投稿料と参加料金を値上げする。P32の参加者が1割減少した場合のシミュレーションの表の事前一般一日券を11,000円から10,000円に変更したものをベースに値上げをすることが全会一致で承認された。サービス向上をすることにより、理解を求め、参加者が減らないように努力していく。

第7号議案 会員（正会員）入会承認の件（津田理事）資料P44-51

平成24年12月から平成25年4月までに新規入会者が全会一致で承認された。

第11号議案 「(仮称)地質・地盤情報活用協議会」の設立への協力依頼

(木村理事)資料P63-67

重要なデータベースをとりまとめて行きたいという趣旨であり、会費もいらないことから参加することが、全会一致で承認された。

第9号議案 2014年AOGSに向けた取り組みと方針（津田理事）資料P55-58 追加資料

AOGSよりLAC (Local Advisory Committee)を決めてほしいと依頼があり、メンバーを決定し、それに伴いReport and Proposal on the 2014 AOGS meeting from JpGUとした取り決めがなされる。連合はコラボレーターとして参加する。つまりアドバイスはするが、実際の活動はLOC (Local Organizing Committee)が行うことになる。又、Program Committee Memberにも入るが、AOGSのProgram Committeeに日本人がいるセッションには入らないことも記載された。正式書類としてAOGSと取り交わすことが全会一致で認められた。

## 8. 報告事項

(1)2013年大会準備報告（浜野理事）資料P1-11

浜野理事より連合大会中のスケジュールが説明された。アイスブレイカーが5月19日（日）の夕方、20日（月）18:30から理事会が開催される。学協会長会議は5月22日（水）13:00から14:00、社員総会は同日19:00から20:00に開催される。21日（火）にコンビンナー、セクションプレジデント、学協会長、社員、ブース担当者、連合以外の招待後援者、

などを招いてのパーティーを開催する。300人程度を目途に、連合関係者は有料、ゲスト（連合関係者ではない人）は招待する形式。セクションの表彰などもこの場で行うことも検討する。

資料 P10 のサイエンスセッション以外の集会申込について、永原先生主催の全国地球惑星科学系専攻長・学会長懇談会は承認、その他の 2 件に関しては、北理事が直接状況を問い合わせ、連合の趣旨にあっていれば認めることが、全会一致で了承された。

#### (2)委員会報告（古村理事）資料 P12

古村理事に代わって津田会長より、メールにて審議が終わっている後援・協賛について認めることが全会一致で了承された。

#### (3)事務局員採用状況

今後中村理事と谷上事務局長で面接をし、4月から採用することが報告された。

#### (4)その他（別添資料 1. 2）

男女共同参画委員会、小口千秋委員長より、連合大会で開催されるシンポジウムで共催と後援を依頼する予定であり、主催は日本地球惑星科学連合で、今後 PR していく予定であることが説明された。科学技術系専門職により男女共同参画実態の大規模調査の結果に関して JGL 7月号に第 2 回の結果を掲載すること、又 10月のシンポジウムまでには冊子を作成する予定であることも説明された。

#### 「大学における数学教育のアンケート」（畠山理事）別添資料 3

畠山理事よりアンケートについて説明があった。

文案は畠山理事が作成し、窓口は畠山理事がなり、事務局に c c する形でアンケートを出すことが全会一致で認められた。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後 5 時 45 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成 25 年 3 月 7 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 7 回理事会

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 川幡 穂高 印

出席理事 木村 学 印

出席理事	中村	正人	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	杉田	倫明	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	松浦	充宏	印